



一緒に山に入り、狩猟に同行するツアーを行っている photo by Takumi Kihara



いただいた命は食材として大切にいただく photo by Takehiro Goto

団体情報

団体名 Antler Crafts
主宰 小野寺 望
所在地 宮城県石巻市小積浜谷川道44
設立 2017年7月
URL <https://antlercrafts.jp/>
Facebook [antlercrafts by nozomu onodera](https://www.facebook.com/antlercrafts.by.nozomu.onodera)
Instagram [antler_crafts1](https://www.instagram.com/antler_crafts1)

CORE VALUE

「自然」「動物」「人」「地域」 四方よしで共に生きる

FEATURES・特徴

「命」や「自然」の循環を伝える

アントラークラブツは、宮城県の牡鹿半島で山を猟師で囲み、猟犬でシカを追い込む「巻狩り」で狩猟したシカなどをジビエとして加工・販売している。「子どもの頃の原体験を改めてやっているだけです」と笑顔を見せる食猟師の小野寺氏。元々は料理人で、友人へ美味しいジビエ料理を振る舞いたかったのがきっかけで始めた。

仕留めたシカをそのまま廃棄するのではなく、食材として蘇らせることで「命」を循環させることを信念にしている。そのため「命」や「自然」の循環を多くの人へ伝えるためワークショップやツアーを実施。狩猟、山菜やキノコ等の採取、溪流釣りなどの体験を通して、自然の恵みのいただき方、食し方、そして持続可能な守り方を学ぶことができる。

FUTURE・展望

次の世代への道筋を切り拓く

ここ10年で猟友会の高齢化が進み、現在は若手の育成に力を入れている。「今の奥山にはシカの食べ物が無い。森のあり方を考える必要がある。獣害問題の本質を捉え、厳しいことも言っていかなければならない」と20年以上にわたり、地域で狩猟を続けてきた小野寺氏は、森の現状に危機感を抱き、次の世代への道筋を切り拓いていく決意を固くしている。

KEY PERSON



photo by Takehiro Goto

Antler Crafts
主宰
小野寺 望

Profile

1967年、宮城県気仙沼市生まれ。
 宮城県石巻市在住。

石巻猟友会所属。牡鹿半島でニホンジカの有害駆除を担い、狩猟や野生食材の採取などをしながら、食材の育つ背景を伝える食猟師。食と自然体験のプロジェクトを通じて、国内外の料理人、アーティスト、一般の方や子供たちに向けて発信し続けている。また、ジビエとして加工されたソーセージなどは同団体HPで販売している。



販売ページ